

専攻主科目名

血液腫瘍学

※ちば総合医療センター

◆問合わせ連絡先 担当：血液腫瘍学講座 長山 人三

E-mail yamaguchi.masao.dx@teikyo-u.ac.jp

TEL 0436-62-1211(代) (内線PHS:5068)

HP(研究室・診療科) http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~chiba/01_shinryo/0106_ketsueki/

◆研究室・講座・医局等の紹介

血液疾患の根治療法である造血幹細胞移植は加齢と共に無病生存率が低下する。特に胸腺の消失した成人では、移植後免疫学的再構築に時間がかかり、一方で合併症である移植片対宿主病GVHDが増加するため、免疫抑制療法ISTを強化する必要がある。そのため感染症や再発が増加するという悪循環に陥っている。

ところで胸腺上皮はヒトで最も老化の早く始まる臓器であり、特にpromiscuous gene expressionという独自の能力を持つ胸腺髄質上皮mTECは、T細胞の陰性選択negative selectionを介して免疫学的寛容を誘導するという「自己」と「非自己」の認識を先駆けて行う臓器である。20歳を過ぎるとmTECは殆ど画像で検出できなくなるが、この時期から造血幹細胞移植の成績が低下するのみならず、膠原病などの自己免疫疾患が増加する。

我々は徳島大学や米国国立衛生研究所NIHならびに民間のバイオベンチャーと共同で、間葉系幹細胞MSCを用いた胸腺細胞の再生を研究している。将来的には免疫抑制でなく免疫増強によるGVHDや自己免疫疾患の治療を目指す。

◆研究室・講座・医局等の紹介

